

Handsome

挑戦

自分自身の中の壁を越える為に

Handsome CONTENTS ————— October 2012 No.288

TOPICS 9月例会開催 DIG ~災害図上訓練~ 「もしも米子が大災害に襲われたら…」

《特集》「挑戦者達の讃歌」畑中氏の著作活動を応援する人々(OB訪問と直売の様子)／県出向レポート「委員長交流会」

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

9月例会開催 DIG~災害図上訓練~

「もしも米子が大災害に襲われたら…」

日時：平成24年9月18日(火) 場所：ホテルサンルート米子

冒頭に河津会長より「近年はメール等のツールが発達して、非常に便利になっています。勿論、私も活用しています。しかし、感情の表現は人間にしか出来ません。やはり、一人の人間として気持ちを持ってコミュニケーションをすることが一番大事です。本日、勉強する災害時の避難にしても最終的には、コミュニケーションが一番大事なことだと思います。」と挨拶が有りました。



続いて委員長タイムでは、メディアコミュニケーション委員会の長谷川委員長が、中国で起こったこのたびのデモで、自社の中国工場に甚大な被害がでた経験から、身近な危機管理について今一度考えてみましょうと話が有りました。

9月例会は「企業人として、また家族の主として、最低限の防災知識を身につけるきっかけにする」を目的として企画されました。講師に鳥取県消防学校教官 森寛之氏をお招きし、DIG【災害(DIaster)、想像力(Imagination)、ゲーム(Game)の略で災害想像ゲームのこと。】について説明を受けました。これはワークショップの技術を活用した最新の住民参加型訓練方法であり、様々な事例を想定したシミュレーションが出来る事が特徴のツールで、地域の防災力を向上を目指した自助共助の確

立に向け、現在広がりを見せつつあるものです。

説明後は各グループに分かれ、震度6強の地震が起きたという事態を想定で、危険が予測される場所や地点を塗りつぶし防災マップを作成しました。(今回は福米・福原地区をモデルケースに使用しました。)これをもとに避難場所、地区に潜む問題点を



検討し、また自分や家族との日頃からの連絡方法や有事の際の集合場所の決定、さらに食料や水の確保方法など、今後必要な対策等について話し合いました。

最後に各班の代表から「地域の広域防災



拠点や、避難場所等の所在を知ることが第一。どこに逃げたら安全か？またはどこに逃げるべきか？を普段から考えておかないと、有事の際の避難ルート選択に困ることが分った。」等、検討成果を披露しました。

今回のDIGに参加した会員が災害を身近なものと考え、日頃から家族と話し合ったり、知識と経験を周囲の人に伝えたり、一緒にDIGを行ったりする事で、有事の際に一人でも多く救う事ができたなら、今回の例会は大成功だったと言えるでしょう。勿論そんな大災害が起きない事を切に願います。(記事：砂原)

例会を終えて… 政治行政委員会 委員長 古谷一郎



9月例会は、会員の皆さんに防災についてあらためて考えて頂きたいと思い、鳥取県消防学校教官 森 寛之氏を講師にお招きして、「DIG~災害図上訓練~」というワークショップ形式で行いました。これは昨年の青経連での地域防災フォーラムで学んだ「自助・共助・公助」の中の「自助と共助」の部分の勉強にあります。

今回参加された方々には、災害を身近に感じ、防災について話し合う事で、災害が起きる前の平日頃から、どのような対策をとっておけば良いかを考えていただけたのではないかと思います。

またこの「DIG」は、対象地域を自分達が住んでいる地区や会社周辺に変更して行えます。ですので、家族や会社でぜひやって頂き、皆さんで防災について改めて考えて頂ければと思います。

最後に、委員会活動を始まったばかりの、方針しか決まっていないう状況で提案したワークショップでしたが、メンバー全員が納得をし、早めに動けた事が良かったと思います。また長田副会長・秋里副委員長には、本当にいろいろの面に於いて負担をお掛けしました。委員会のメンバーにも感謝しています。ありがとうございました。

特集

「挑戦者たちの讃歌」

医療法人 同愛会 博愛病院 事務長
森下正義OB (第19期ご卒会)



時の流れの瞬間を時点という。時点が繋がって時線となり、時の流れをつくる。(小説:「時線の扉 三十三年目の奇跡」 畑中経之著 より抜粋)

この度、小説を自費出版された畑中OB。その畑中OBを第一線で応援されている森下OBを訪問し、お二人の「時線」についてお話を伺った。

「彼の小説を読んで、彼にこう言ったんだ。『おい、いったい誰のアイデアを盗んだんだ？ 正直に言ってみろ』ってね(笑)」。20年来にもなる、森下OBと畑中OBの付き合い。

森下OBのこの言葉の真意には、畑中OBに対する最高の賛辞があった。「まさか彼にこんな才能があるとは思わなかったんだ。今までこんな発想の小説は読んだ事がなかったからね。発売直後すぐに購入して、一気に読み終えたんだけど、これならTVドラマにしてもおかしくないと思ったよ」。



平成24年9月18日例会における即売会の様子(小林OB、夏山OB、加藤OB)

宮崎県出身で、20代中盤でのご結婚を機に米子へと移住された森下OB。当時は右も左もわからず、話す相手といえば、奥様のご家族か職場の同僚のみ。そんな森下OBの交流の輪が広がったのは、まさに中央会に入会してからだった。

「人の触れ合いが、自分を米子人にくれた。特にトリアスロンで生まれた絆は強かったね。当然今でも付き合いがあるし、もちろん、これからも一生付き合い合っていくと思うよ」。森下OBが今でもトリアスロンに率先して関わる理由は、自分を米子の人間にしてくれ、たくさんの仲間を作ってくれた中央会や地域への恩返しの意味もあるとのことだ。



『森下OBはなぜ畑中OBを応援されるんですか?』

私たちの問い掛けに、「仲間が頑張っている姿を見るのが、素直に嬉しいだけだね。ただ単に、それだけだよ。自分が困ったとき仲間が助けてくれる。誰かのために役立っているからこそ生かされている。友人の成功を祈り、協力するのが仲間。——仲間理由には要らないんじゃないかな」と答えられた。

「誰でも掛けそうになる時があるよね。そんな時に助けになるのが“仲間”なんだろう。中央会はそんな最高の仲間を作ることができるし、人の立場になって考えることも教えてくれる」。

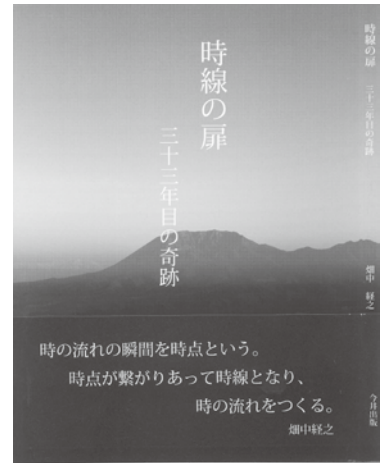
続けて森下OBは、現役会員に向け、「入会のきっかけは何でも構わない。ただ、中央会の中で自分が何を求めるのか、それをもう一度真剣に考えて欲しい。月にたった2回程度なのだから、なんとか時間を作って積極的に参加するべきだね。仲間と共に感じた苦しみや楽しみが、知らないうちに“人間磨き”になっていることに気付く時が来る。今は判らないかもしれないけれど、卒会した時、初めて判るようになる」と付け加えられた。

そして森下OBは思い出したように続けられた。

「そういえば、畑中さんに、『あの小説はとても良くできたサスペンスだな』と褒めたことがある。そしたら彼は『いや、あれはサスペンスじゃない。“恋愛もの”だ。』と言い返された(笑) なるほど、確かに。そういわれてみれば恋愛の要素があったな(笑)」

人生も小説も捉え方次第。

その時は気付かなくても、振り返ってみて初めて気が付くものもあるようだ。



(記事:生田・濱澤)

はじめての例会

チャレンジ委員会 福本隆史



この9月例会は、古谷委員長率いる政治行政委員会による、災害図上訓練(DIG)が開催されました。私はDIGという言葉すら聞いた事もなく、どんな訓練をするのが非常に興味を持っておりました。例会が始まり消防学校の講師の方から説明を聞いて、初めてDIGがどのようなものか理解することができました。その後、各委員会単位に分かれて災害図上訓練がスタートを切りました。私が所属するチャレンジ委員会においても、皆さんが積極的に意見を出し合い、非常に有意義な時間を過ごすことができました。最後に各委員会の発表があり、様々な視点の意見があがりました。どの委員会の発表を聞いても、なるほどと気付かされる内容でした。

やはり災害というのは、いろんなケース状況があると思います。実際にあるかもしれない事なので、皆さんそれぞれの意見は非常に興味深く考えさせられました。

この9月例会は、自分にとって今後につながる例会でした。このDIGは家族でも必ずやっておかなければならないことだと思います。私もこれから皆さんに喜んでもらえるような例会を作っていきたいと思います。ありがとうございました。

👁️👁️ 気になるアレ覗いてみた



青年中央会に全て所属されている。(有)スバル代行 代表取締役 松本 誠二会員に、3団体の違いやおもしろさ、見習うべき点などを伺った。

Y E G・J Cの取り組みは中央会同様例会と委員会活動があるが、違いとしては、中央会の委員会は19時からだが、Y E Gは12時からランチを取りながら委員会を開催していて、中央会も(内規で19時と決まっているが)「試験的に昼からの委員

会を取り入れたら出席しやすい会員もいるのではないかと感じた。

会を取り入れたら出席しやすい会員もいるのではないかと感じた。

「3団体に所属して感じたことは、団体は違うが同じ米子で活動しているので、他団体との交流を深め、互いのいい部分を吸収する機会を(青経連以外にも)設けてもいいのではないかと、各団体の活動がまだまだ情報発信不足なので、もっと積極的に発信していく必要があると思う」との話があった。確かに現状青経連のイベントはあるが、安来や松江Y E Gとできている交流が意外に米子J Cや米子Y E Gとできていないことは改善すべき点ではないかと感じた。

また趣旨とは違うが、「なぜ松本会員はいつも例会前の食事を食べないのか」と質問したところ、「懇親会で食事を食べるので、例会に集中するため、また懇親会の食事をよりおいしく食べるために食事は取らないようにしている」と例会に出席する真摯な姿勢が伝わった。(ちなみに例会時の食事は、J Cは出ない、Y E Gはサンドイッチ等軽食程度が出るそうだ)

(記事:星川)

🔪 県出向レポート

県出向レポート第2弾は、平成24年9月8日(土)にベイサイドスクエア皆生ホテルにて行われました、県青年中央会主催 委員長交流会の様子をお伝えします。

今回は、今までの委員長交流会よりさらに相手の事をよく知ることを目的としました。1部では手帳に載っている内容よりさらに自己を知ってもらうための自社PR。2部では異業種の集合体である中央会のメリットを最大限生かしてできる、新規ビジネスコラボを模索するためのディスカッションを行っていただきました。



揃いだらけの研修会だけではありません。

まず1部では、自社商品を持参してPRをされる会員、会員同士のビジネスコラボの実例を挙げられる会員とさすがに委員長



そして2部では、3班にわかれて熱い議論を繰り広げた結果、廃車利用のイベント企画・カーハウス「同士一丸」・プライダルフェアなど面白い案が出ていました。

特筆すべきは、全班がこちらの要望だった「2社でのコラボによる新商品」ではなく、「班全員で一つのモノにどうコラボできるか」を議論していたことです。これは主催者にとっても嬉しい誤算でした。

今年は宿泊なしの委員長交流会でした



が、東部・中部共ほとんどの会員・役員が宿泊され、懇親会・二次会とあらたな深い結びつきが生まれた1日でした。

委員長交流会に参加して

道州制問題検討委員会 委員長 濱田 修

9月8日に皆生ホテルにて開催された委員長交流会に参加してきました。

当日は東・中・西の各地区より、計14名の委員長と代理出席された1名の副委員長を交えて、自社の企業アピールならびにグループディスカッションを行いました。企業アピールでは、さすが皆さん上手にアピールをされるなど感心すると共に、何の用意もしないで臨んだことを多少悔みましたが、交流会・懇親会を通して、他地区の委員長の方々との交流を経て、刺激をもらうことが出来ました。これをきっかけに、今後より一層良い関係を築いていければと思います。

また、地区は違えど同じ委員長という立場で、一年間活動されていく方々と交流できる貴重な時間を頂けたことを、県の役員の方々に感謝致します。

教育対策検討委員会 委員長 白石 博昭

何をするにも熱エネルギーが必要です。何事においても「熱い思い」がなければ、何事も実現しません。

今回の委員長交流会において、参加した委員長それぞれの「熱」を感じる事が出来ました。「ビジネスコラボで新事業を考える」というテーマは、目先の利益のことだけ考えても実現しません。「どうやったら楽しんでもらえるか?」「どうすれば問題が解決するか?」という視点に立った発想から色々な物や事が生まれてきます。オリジナルな発想などなかなかありませんが、既存のもの×既存のもの、といういろいろな組み合わせからオリジナルなものが出ていきます。

これからも「遊び心」を忘れず、中央会の仲間と「同志一丸」となって熱く「挑戦」していきます。

会長ぼろ！



今月は、最近聞いた中で感銘を受けたことについてお話ししたいと思います。「ありがとう」「感謝します」という言葉の意味は、「自分のために何かしてくれて、それに対して感謝するから、ありがとう」が一般的ですが、その他にもっと大事な意味があることを知りました。ありがとうは漢字で書くと「有難う」一難があると書きます。「難があっても今、こうしていられる。小難で済んだことに対してありがとう」という意味深い言葉だそうです。どんな逆境にも「ありがとう」と思えることが大事ということでした。そう思って前向きに進めば、その逆境の壁を乗り越え、最後にはそのことに対して感謝し、ありがとうと思えることが出来ると思います。ありがとうの気持ちを持って挫けず前向きに、ぜひ、今期のテーマでもある「自分自身の中の壁を越える為に」に挑戦してください。私も頑張ります。

お誕生おめでとう



^{ゆうだい}
中川雄大ちゃん
(中川孝彦会員の長男)
平成24年6月22日生まれ

6月22日に長男が誕生しました。名前は「雄大(ゆうだい)」と言います。

大自然の中で伸びのび育ってくれれば、と思います。自分も良き親父になれるよう頑張ります。今後ともご指導のほど宜しくお願いします。



^{ともき}
赤井智祇ちゃん
(赤井宏之会員の三男)
平成24年9月7日生まれ

政治行政委員会の赤井宏之です。9月7日に第三子の男の子が生まれました。三人共男の子となり、これからが非常に楽しみです。仕事柄土を構う事が多いので、地之神の祇という字を頂き智祇(ともき)と名付けました。にぎやかな生活が始まりますが、気持ちを新たに頑張ります！

編集後記

皆様の生活の一部となっているFacebook。私にとっては避けて通りたいFacebook。

頭によぎる「ヤバイ…」が「挑戦」へ変換した今、遅ればせながら参戦いたします。

苦手なことが降り注ぐ2012年、「挑戦」は、今年の私の流行語大賞になりそうです。(吉田通代)

中央会徒然

須山副会長

早いもので中央会に入会してから、あっという間に8年が過ぎてしまいました。入会当時の会長から「仕事が一番、家庭が二番、中央会は三番目。」というお言葉を頂いたときに、この会は素晴らしい会だなと感じたのを思い出します。我々は各会社の代表として中央会に入会させて頂き、家庭の理解によって中央会活動を続けております。私自身、常に心掛けているのは中央会活動の目的は会社のため、家庭のためであるということです。残り僅かな中央会生活ですが、最後まで目的を違えることなく、皆さんと共に有意義に過ごしたいと思っております。

9月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会

平成24年9月5日(水) 19:00～ レストランぶどうの木
議題／・役員会報告
・ハンサム、TV番組、チラシ打合せ
・10月担当例会について、その他

政治行政委員会

平成24年9月6日(木) 19:00～ レストランぶどうの木
議題／・役員会報告
・9月担当例会について
・会員拡大、その他

チャレンジ委員会

平成24年9月6日(木) 19:00～ 米子ニューアーバンホテル
議題／・役員会報告
・イベント企画、運営について勉強会
・12月クリスマス担当例会について、その他

教育対策検討委員会

平成24年9月7日(金) 19:00～ 米子ニューアーバンホテル
議題／・役員会報告
・教育に関する勉強会
・12月クリスマス担当例会について、その他

道州制問題検討委員会

平成24年9月11日(火) 19:00～ 米子ニューアーバンホテル
議題／・役員会報告
・道州制問題に関する研究会
・11月担当例会について、その他

総務・40周年事業準備委員会

平成24年9月6日(木) 19:00～ 米子ニューアーバンホテル
議題／・役員会報告
・40周年事業準備について
・その他

10月役員会報告

10月役員会が平成24年10月1日(月)米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・9月例会の開催報告
- ・10月例会開催の件
- ・11月例会開催の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

10月例会のご案内

と き：平成24年10月15日(月) 19:00～21:00

ところ：米子食品会館 新館1階 大ホール

内容：第1部 講演「知的財産権と見える価値」

第2部 パネルディスカッション「事例実習」

担当：第38期メディアコミュニケーション委員会